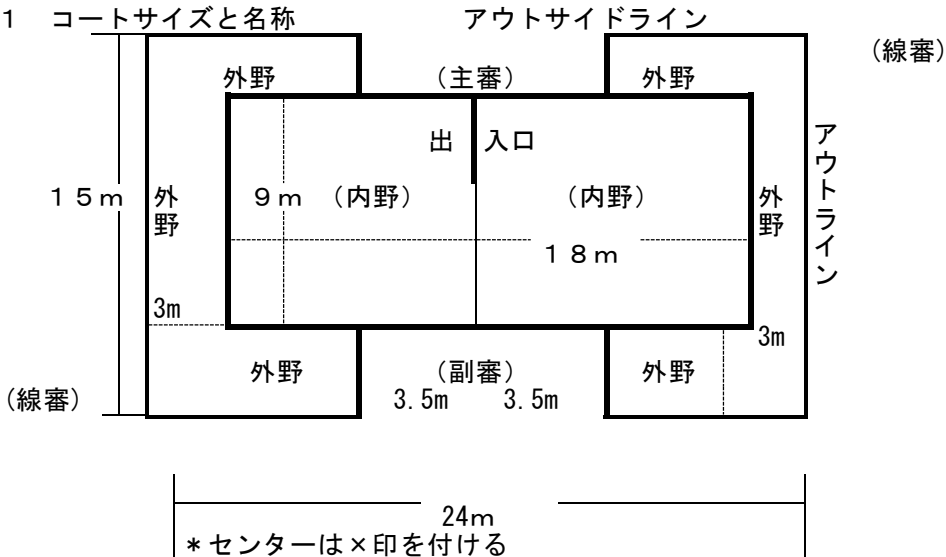


# R5小学生ドッジボール大会 (普及の部) 競技規則

## 1 コートサイズと名称



## 2 チーム構成 (資格と人数)

- ・監督大人1人、選手8人以内 (交代なし)
- ・選手は小学生とし、男女混合チームも可。

## 3 競技時間

- ・1試合5分とする。(ランニングタイム)

## 4 用具

- ・日本ドッジボール協会公認3号ボールを使用する。(モルテンMSDB)

## 5 競技方法

### ①自陣の選択

試合前に両チームの代表がジャンケンでコートを選択権を決める。

### ②選手の権利及び位置

- ・試合開始時には、コート場に8人の選手が出場していなければならない。
- ・試合開始時外野には1人以上7人以下を配置することができるが、外野プレーヤーが内野に入る場合は、相手内野プレーヤーをアウトにしなければならない。
- ・内野でアウトになった者は、すぐに外野に出る。
- ・外野で相手をアウトにした者は、外野に1人以上いる時は直ちに内野に復帰できる。
- ・外野で内野に入る権利を持つ者がいる場合、外野が1人を割らない条件で実行する。直ちに行動しない場合、その権利は、失効する。
- ・外野で内野に入る権利を持つ者が相手をアウトにした場合、重複して内野に入る権利は生じない。
- ・内野に入る権利を他の者に譲ることはできない。

### ③試合開始

- ・センターでのジャンプボールによってゲームを開始する。
- ・ジャンプボールをした選手は、最初にボールをとってはいけない。
- ・ジャンプボール直後の第1投で、ジャンプボールをした選手を攻撃してはいけない。また、ジャンプボールをした選手が攻撃してもいけない。

### ④攻撃

- ・反則に気をつけ、内外野の連係プレーなどで相手内野を攻撃する。
- ・外野は相手をアウトにした時、直ちに内野に入る。ただし、外野の人数1人を割らないこと。
- ・内野に入る場合は主審、副審の後ろを通って入ること。
- ・外野から内野に入る者を故意に狙ってはいけない。

### ⑤守備

- ・相手の投げたボールがフロアーに着く前に、体（頭部以外）にあたり、ボールがフロアーに着くまでに、自分あるいは味方が捕球できない場合アウトとなる。また、相手が捕球した場合もアウトとなる。
- ・相手の投げたボールが2人以上にあたり、ボールがフロアーに着いた場合は、最初に当たった1名がアウトになる。
- ・アウトになった競技者は、速やかに外野へでる。  
(アウトになったものが、わざとボールにふれた場合は相手内野ボールとなる)

#### ⑥ タイム

- ・競技中のタイムアウトは認めない。（事故等やむを得ない場合を除く）  
※審判の判断よりタイムを取る

#### ⑦ アウト オブ バウンズ

- ・ボールがアウトライン、アウトサイドラインを越えた場合は、最後に触れた反対側のチームの内野ボールとなる。ただし、外野の選手が味方からのパスを手で触れた場合（オーバーライン等のファールが無く）、触れた選手のボールとなる。  
その際、必ずボールを頭上にアップして主審のホイッスルで再開する。

#### ⑧ 勝敗の決定

- ・時間内に相手の内野をすべてアウトにした場合、その試合を終了する。
- ・両チームとも内野が残った場合には、人数の多いチームを勝ちとする。
- ・残った人数がすべて同じ場合には、サドンデス（以後1名アウト）により決定する。

#### ⑨ 反則

反則があった場合には、主審がボールの支配権を指示する。支配権を持ったチームがボールアップし、主審のホイッスルで試合を再開する。

##### ラインクロス

- ・投球し、その動作が終わるまでに、ラインを踏んだり、越えたりしてはいけない。捕球の場合も同様とする。反則の場合は、相手内野ボールとなる。

##### オーバータイム

- ・味方同士のパスは4回までとする。反則（遅延行為）の場合、相手内野ボールとなる。

##### スティール ザ ボール

- ・相手コートにあるボールをとってはいけない。ただし、ボールが空中にある場合は、この限りではない（相手コート内でドリブルは反則）。反則の場合は、相手内野ボールとなる。

##### ダブルパス

- ・同一チームの内野同士、外野選手同士がパスやボールの受け渡しをしてはいけない。反則の場合は、相手内野ボールとなる。

##### その他

- ・判定に対する抗議は受け付けない。抗議した場合は、アウトもしくは退場になる。

#### ⑩ 応援

- ・アリーナには、選手8人と監督1人のみ入ることができる。よって、応援の者は2F観客席からの応援とする。
- ・2F観客席からの判定に対する抗議は、受け付けない。  
マナーが守れない場合は、そのチームに警告等の罰則があたえられる。